

航空機操縦士養成連絡協議会 航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

裾野拡大ワーキンググループ 令和元年度とりまとめ

1. ワーキンググループ構成員

別紙のとおり

2. 令和元年度における取組み

(1) 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会の開催

両協議会が連携し開催された「女性航空教室 Yes I Can!」について、今年度は令和元年12月15日にヘリコプター部会とも連携し女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による仕事の紹介、講演、グループディスカッションが行われ、昨年を大きく上回る78人の参加があった。

今年度も特に人気を集めていたグループディスカッションの時間を多くとり、活発なフリーディスカッションを通じ現従事者から様々なメッセージを発信し、女性が輝ける職場であることを大いにアピールすることができた。

実施後のアンケートでは、“大変有意義だった”との回答が全体の98%を占め、参加者にとって大変意味のあるイベントとすることができ、操縦士、整備士、製造技術者の裾野拡大に大いに有用な取組となった。

(2) 航空機産業人材確保に関する取組み

経済産業省（中部経済産業局）において、若年層に対する航空機産業の仕事の理解促進や職業意識の醸成等を図り、航空機関連企業等の将来的な人材確保支援を行った。

具体的には、高等専門学校生徒を対象として国際的商談会の見学会を開催し、航空機産業のビジネスに対する関心の向上を図った。また、航空機関連企業における若手社員の学び直しを提供するため、アビオニクスや複合材等をテーマとした「航空機部品高度生産技術者育成研究会」を2回開催し、即戦力となるために必要な知識の定着を図った。さらに、航空機分野への新規参入を目指す企業等を対象とした中核人材育成講座（平成30年度に教育プログラム改訂。）や、今後市場開拓が期待される航空機装備品分野について新規参入者向けの教育プログラムを実施した。

(3) 空の日や子ども霞が関見学デー等のイベント実施

令和元年8月7日及び8日の2日間に渡り開催された国土交通省における「子ども霞が関見学デー」において、公益社団法人日本航空機操縦士協会、公益社団法人日本航空技術協会、一般社団法人全日本航空事業連合会、一般社団法人日本女性航空協会、航空会社が協力し、現役操縦士・整備士・客室乗務員による仕事紹介や学校法人日本航空学園ご協力によるフライトシミュレーター体験などを実施した。当該イベントには、国土交通省全体で約5,400名の参加者（前年比約125%）があり、多数の参加者のなか、次世代を担う世代の裾野拡大につながる有用な取組となった。

また、公益財団法人日本学生航空連盟は小松、入間の各航空自衛隊基地祭に際して、

グライダーの飛行、地上展示を行い10万人を超す来場者に”より近い空”をアピールするなど、航空思想文化の普及発展の一助となる活動を実施した。

なお、公益財団法人日本学生航空連盟は公益社団法人日本滑空協会と共催で、令和元年10月20日に埼玉県熊谷市妻沼グライダー滑空場にて“埼玉スカイスポーツフェスタ2019”を開催する予定であったが、台風19号による利根川の増水により妻沼グライダー滑空場及び利根川総合運動公園が長時間冠水したため、安全かつ健全に実施できないため開催を中止した。

(4) 各航空会社における取組み

各航空会社において全国各地における航空教室の実施や工場見学、空の日への参加等様々なイベントを通じ裾野拡大に係る活動を実施した。

3. 令和2年度以降の進め方

講演会や航空教室、航空関係団体が集まって行う職業説明会のような新たな形式のイベント等については、新型コロナウイルス感染拡大の状況も踏まえ、感染防止の対策を講じつつ、可能な範囲で引き続き計画・実行することとしたい。航空機産業人材確保については、これまで高専生に対して専門技術者による講義等を実施し一定の成果が出たことから、引き続き、大学、高専、専門学校と連携した学生向けの取組みを検討していく。

その他の取組みについても関係機関と連携しつつ、可能な限り継続して実施される

ことが望ましい。また、両協議会事務局からその他裾野拡大に関する取組みについて協力依頼があった場合は、引き続き関係者の積極的な協力が期待される。一方で、協議会員各位においても、裾野拡大に関する取組みを検討する上で、個社での実施が難しい場合は他の会員に協力を要請したり、協議会事務局へ相談したりするなど、相互に協力して取組むことも想定される。

裾野拡大ワーキンググループは令和2年度以降も存続し、別途開催する必要があると判断した場合に開催するものとする。なお、ワーキンググループは各協議会の取組みの内容により、協議会ごとに開催する場合も想定される。

<<添付資料>>

- ・ 裾野拡大ワーキンググループ令和元年度とりまとめ参考資料
- ・ 裾野拡大ワーキンググループ構成員名簿



裾野拡大ワーキンググループ 令和元年度とりまとめ参考資料

現役の女性操縦士・ 女性整備士・女性製造技術者による講演会

■「女性航空教室 Yes I Can!」

令和元年12月15日にヘリコプター部会とも連携し、女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による仕事の紹介、講演、グループディスカッションが行われ、昨年を大きく上回る78人の参加があった。

【グループディスカッションの様子】



【昨年を上回る多くの方にご参加いただきました。】



航空機産業人材確保に関する取り組み

■ 経済産業省（中部経済産業局）において、高等専門学校生徒を対象とした国際的商談会の見学会を開催し、航空機産業のビジネスに対する関心の向上を図った。また、航空機関連企業における若手社員の学び直しの場を提供するため、アビオニクスや複合材等をテーマとした「航空機部品高度生産技術者育成研究会」を2回開催し、即戦力となるために必要な知識の定着を図った。さらに、航空機分野への新規参入を目指す企業等を対象とした中核人材育成講座（平成30年度に教育プログラム改訂。）や、今後市場開拓が期待される航空機装備品分野について新規参入者向けの教育プログラムを実施した。

イベント等の企画・参画

■ 子ども霞ヶ関見学デーへの協力

ー 現役操縦士等によるお仕事紹介、日本航空学園によるフライトシュミレーター体験 等

■ 埼玉スカイスポーツフェスタ2019（公益財団法人日本学生航空連盟）

ー グライダーなどを実際に“乗る、ふれる、飛ぶ”ことができる体験の実施 等

※ 台風の影響により中止

■ 各航空会社における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）